

冬期におけるハウレンソウの路地とハウス栽培の比較データ

野菜：ハウレンソウ

品 種：ソナタ7

播種日：平成 29 年 12 月 7 日

× 播種日
▲ 出芽日
● 収穫開始日

	12 月	1 月	2 月	3 月
ハウス栽培	X 12/7 ▲ 12/17		● 2/17	
路地栽培	X 12/7 ▲ 12/25			● 3/22

上記表で示すとおり、12月7日に播種した場合、ハウス栽培での出芽は路地栽培より1週間程度早く、また収穫は1か月以上早く開始できた。

下記の写真1及び2はハウス栽培における出芽時期のものだが、写真1では地面の盛り上がりは見られるがまだ地面より芽が顔を出しておらず、上表では出芽日を播種後10日目の12/17としている。

写真1. ハウス栽培 播種後8日目(12/15)



写真2. ハウス栽培 播種後14日目(12/21)



一方、路地栽培では写真3が出芽、写真4が収穫直前である。

写真3. 路地栽培 播種後18日目(12/25)



写真4. 路地栽培 播種後102日目(3/19)



露地栽培では冬場の寒さに当たることからゆっくり育ち、葉は厚く、緑は濃く、葉柄が太く短く、しっかりしており、根元は赤みが強く、食味は甘みが一段と増している。

ハウス栽培では出芽直後に雨にたたかれる危険や生育期に鳥につつかれる心配はなく、また泥がほとんど付かないため洗わずに出荷することが可能である。また、成長が早いため株の中心部分から出てくる葉が成長しきる前に先に出ていた葉が出荷に適する長さになることから、1株当たりの葉数は少なくまた葉柄が細く長い状態で出荷となる。収穫時期を遅らすと下葉や先に出ていた葉の色が薄くなる。この辺に関しては水管理・施肥管理・温度管理などの栽培技術の問題かもしれない。

収益についての比較はここでは記載しない。